

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会 議 名	平成 25 年度第 1 回 第 5 分科会（経営、企画分野）				
日 時	平成 25 年 10 月 2 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 4 時				
場 所	江南市民体育会館 2 階 大会議室				
出席者	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">市民委員</td> <td>福田 直樹、粕山 光正、飯島 和代、奥村 忠、脇坂 康彦</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">市職員</td> <td>坪内 俊宣、武田 篤司、栗本 浩一、川田 保、菱田 幹生、大竹 誠、岩田 高志、大倉 由美子</td> </tr> </table>	市民委員	福田 直樹、粕山 光正、飯島 和代、奥村 忠、脇坂 康彦	市職員	坪内 俊宣、武田 篤司、栗本 浩一、川田 保、菱田 幹生、大竹 誠、岩田 高志、大倉 由美子
市民委員	福田 直樹、粕山 光正、飯島 和代、奥村 忠、脇坂 康彦				
市職員	坪内 俊宣、武田 篤司、栗本 浩一、川田 保、菱田 幹生、大竹 誠、岩田 高志、大倉 由美子				
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度のまちづくり会議について 2. まちづくり評価について 3. 江南市戦略計画の見直しについて 4. 委員及び市職員の紹介 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて 6. 第 2 回の会議日程について 				
資 料	<p>資料 1 江南市まちづくり会議委員名簿</p> <p>資料 2 まちづくり評価について</p> <p>資料 3 「江南市戦略計画」見直しの考え方について</p> <p>資料 3 別紙 1 目標フレーム見直しの考え方</p> <p>資料 3 別紙 2 新たな環境変化</p> <p>資料 4 まちづくり会議のスケジュール</p> <p>資料 5 まちづくり評価</p> <p>資料 6 戦略計画見直し作業結果シート</p> <p>資料 7 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査報告書</p>				

◆ 会 議 結 果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・経営企画部長より、今年度のまちづくり会議について、資料に基づき、まちづくり会議の目的、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

2. まちづくり評価について

- ・行政経営課主幹より、資料 2 に基づき、まちづくり評価について説明がありました。

3. 江南市戦略計画の見直しについて

- ・行政経営課企画政策グループリーダーより、資料 3 に基づき、江南市戦略計画の見直しについて説明がありました。

4. 委員の自己紹介

- ・4 月の人事異動により変更のあった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

〔柱 1〕地域協働の推進

- ・資料 5、6 に基づき、委員（地域協働課長）より説明がありました。

【個別目標①】市民が地域社会の担い手になっている

- ・指標「公募型協働支援補助事業採択団体数」について、実績値が平成23～24年度にかけて6件→3件と減少していることの説明が求められました。担当課からは、この補助事業については、毎年度申請が出てきた中から採択団体を選定するものであるが、申請件数自体が減少してきている。目標の10件が達成できるよう努力していきたいとの説明がありました。
- ・指標「アダプト制度の登録割合」、「公募型協働支援補助事業採択団体数」において達成率の低さが目立つが、市民にとってはこれらの活動がとっつきにくいものを感じられるのではないかと。他の自治体の例などを参考にして、成果が上がる方策を考えてほしいとの意見がありました。担当課からは、公募型協働支援補助事業については、事業を始めたいと思った団体がスムーズに申請を行えるよう、申請書様式を書きやすく改善することを予定している。そういったことを含め、市民の取り組みを応援するために何ができるのかを考えていきたいとの回答がありました。
- ・補助事業の申請数を伸ばすために、市役所から事業のテーマを例示してはどうかとの意見がありました。担当課からは、市役所の施策がなかなか行き届かないような課題を提示し、それに取り組んでもらえる団体を募集する方法について、今後研究していきたいとの回答がありました。
- ・老人会による清掃活動が行われていると思うが、アダプト登録を行ったうえで活動しているのかという質問がありました。担当課からは、全てではないが登録している団体もあると思うとの回答がありました。
- ・市民満足度調査の結果によると、市外に移り住みたい、または移る予定という方に対してその理由を聞いた設問で、「近所付き合いなどがわずらわしい」と答えた方の割合が21.3%にも上っている（資料7の5～6ページ）。これは過去2回の調査と比べ増加しており、市がこれから協働のまちづくりを目指すうえでは問題視すべき結果といえるのではないかと、との指摘がありました。
- ・市民が行う活動は、外部からの押し付けによるものではなく、自分たちの住むまちを良くしたいという気持ちから生まれた自発的なものでないと発展しないと思う。このような活動が生まれるよう、「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」の啓蒙・啓発に力を入れるべき。それも行政からではなく、例えば公募型協働支援補助事業のメニューに同条例の啓蒙・啓発を加えるなどし、市民から市民へ草の根的に広がっていくことが望ましい、との意見がありました。
- ・また、市民団体の自発的な活動を誘発するために、市役所がリーダーシップを発揮することも考えられるのではないかとこの意見もありました。
- ・すでにアダプトの活動をしている人や団体を見て、自分も始めてみたいと考える人もいると思うので、市役所が団体等の活動内容をPRしてはどうかとの意見がありました。担当課からは、今年度後半から、広報や市ホームページに、各団体の活動内容を紹介する記事を掲載していくことを予定しているとの回答がありました。

【個別目標②】地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

- ・このまちづくり会議やアダプト活動など、江南市にも良い題材はあると思うのだが、マスコミに取り上げられる機会が少ないように感じる。ある団体では広報担当者の努力により、新聞に紹介記事が掲載される回数が増えたそうなので、市ももっと積極的に売り込みを行って頂きたいという意見がありました。

【柱2】戦略的な行政経営の推進

- ・資料5、6に基づき、委員（行政経営課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに応じている

- ・指標「マネジメント・グループ制が適切に機能していると感じる組織の数」について、年々増加するよう目標設定しているにも関わらず、実績値はむしろ下がってきているが、目標達成は可能かという質問がありました。担当課からは、目標と実績が乖離してしまっている状況だが、その対策として、今年度から少人数グループの統合によるグループ数削減（148→111 △37）や、課全体の調整機能を担う単独主幹の設置などの見直しを行っているところであり、その効果も検証しながら、今後も目標達成を目指して努力したいとの回答がありました。
- ・また、同指標の実績値が上がっていかない理由についての質問がありました。担当課からは、グループ制とは集中改革プランにより職員数が減少したことを受けて導入したもので、担当業務を持たない管理職（課長補佐）を廃止し、課長の下に直にグループリーダー（担当業務あり）をおくことで生産性を向上させるとともに、職員間の協業が進むよう、課内のグループを状況に応じて課長が自由に編成し直せるようにしたものである。しかし、弾力的に組織を変えることは現実には難しいようであり、職員研修なども行っているものの、なかなか結果がつかない状況であるとの回答がありました。
- ・同指標の測定方法について質問があり、担当課からは、市役所の全26課を対象としたアンケート調査の結果により測定している。各課の自己評価であり、明確な評価基準は設けていないとの説明がありました。

〔個別目標②〕計画的で健全な財政運営が行われている

- ・指標「経常収支比率（単年度）」とはどういうものかという質問がありました。担当課からは、この指標は財政の弾力性を示すもので、低いほうが良いといえる。この値が高ければ、財政が硬直化していることを示し、それだけ自由に使える資金が少ないということになるとの説明がありました。

6. 第2回の会議日程について

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。
- <第2回> 10月21日（月）午後6時00分～ 市役所 3階 第4委員会室
- <第3回> 10月29日（火）午後6時00分～ 市役所 3階 第4委員会室

7. その他

- ・奥村分科会長、飯島副分科会長、地域協働課長に、11月18日開催予定のまちづくり会議（全体会議）への出席のお願いが事務局からありました。
- ・奥村分科会長へ1月から2月にかけて行う住民説明会への出席のお願いが事務局からありました。